

ごあいさつ

皆様には、平素より東和銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当行では、令和2年6月24日をもちまして、吉永國光が会長に、江原洋が頭取に就任いたしました。今後とも、「靴底を減らす活動」「雨でも傘をさし続ける銀行」「謙虚さのDNAを忘れない銀行」の3つのモットーをもとに、地域金融機関として地域の皆様とともに持続的に発展することができるよう役職員一同尽力していく所存です。皆様におかれましては、弊行への変わらぬご愛顧ご支援を賜りますようどうぞよろしく願います。

さて、本年度も、当行に対するご理解を一層深めていただくために、ディスクロージャー誌「東和銀行レポート令和2年3月期」を作成いたしました。本誌では令和元年度の業績を中心として、できるだけ詳しく紹介させていただいておりますので、ご参考にいただければ幸いです。

令和元年度のが国経済は、昨年までは、海外経済減速や自然災害、消費税率引き上げなどの影響から、輸出・生産や企業マインドに弱めの動きがみられたものの、緩やかな回復基調が続きました。しかし、今年に入って、国内外で新型コロナウイルス感染症が蔓延し、サプライチェーン寸断や行動規制などにより、需要・供給両面での制限があったことから、景気の先行きが不透明な状況となっております。また、金融を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症への対策のために金融緩和が追加されるなど、極めて緩和的な状況が続いております。

このような状況のもと当行は、経営強化計画「プランフェニックスV」に基づき、お客様の「本業支援」「経営改善・事業再生支援」「資産形成支援」に取り組む「TOWAお客様応援活動」の実践により、お客様の企業価値の向上と当行の収益力の向上を図る「共通価値の創造」に取り組むことで、お客様と当行の双方で持続可能性のある発展を目指してまいりました。これは、SDGs (Sustainable Development Goals) そのものであると考えており、「お客様と当行のSDGs (持続可能な発展目標) の推進」(*)をキーワードに、お客様応援活動の強化・深化に取り組んでまいりました。

(※) 当行は、お客様と当行の持続的な発展を目指す観点から「持続可能な発展目標」としております

また、新型コロナウイルス感染拡大により、直接的または間接的に影響を受けている中小企業事業者等の皆様の業況や資金繰りについて、きめ細かく実態把握を行い、適切かつ迅速な金融支援に取り組んでまいりました。

お客様の本業支援にあたっては、ESG (Environment: 環境、Social: 社会、Governance: ガバナンス) に着眼した財務面と本業面の支援に取り組んでまいりました。昨年の9月に環境省「地域ESG融資促進利子補給事業」に係る指定金融機関の認定や昨年10月に環境省「地域におけるESG金融促進事業」に係る支援先機関の認定を受けるなどESG融資の普及や促進に努めています。また、昨年の11月にはゆうちょ銀行と連携して、中小・中堅企業の事業承継や観光開発等の支援を通じ、地域の活性化に貢献することを目的とした「東和地域活性化ファンド」を組成いたしました。お客様の販路拡大を目指すビジネスマッチングや大手企業との川上・川下マッチング事業の開催、大手工業系・大手食品系との個別商談会の開催を積極的に行いました。他行に先駆けて取り組んできた「ものづくり補助金」の申請支援では、リレーションシップバンキング推進部

お客様応援室と外部コーディネーターが連携して、申請書の作成支援に取り組んだ結果、4年間の採択件数は、群馬県・埼玉県などの金融機関を上回るトップとなっております。また、関東経済産業局と連携して専門知識や経験を持つ大手企業OBと専門人材の不足に悩むお客様の橋渡しをする「新現役交流会」を平成26年7月に地方銀行として初めて開催して以降、これまでに群馬県と埼玉県で計6回開催しております。海外進出や輸出入に関心のあるお客様への海外進出支援については、国際部海外進出支援チームによる58カ国39機関との海外ネットワークを活用した各種情報提供や業務提携先と連携した取組みを強化・拡充して積極的にサポートしてまいりました。

経営改善・事業再生支援では、経営改善計画の策定支援や経営指導などコンサルティング機能の発揮に努め、外部専門機関の知見やサポート機能の活用を積極的に行うとともに、取引先企業の経営状況に応じて、より適切な事業性の評価に基づいた、実効性のある抜本的な事業再生支援にも取り組んでまいりました。

資産形成支援では、お客様の金融資産を守り育てるためのアドバイザー型営業の実践を昨年7月から全店で開始し、ローリスク・ローリターンのコア・ファンด์を中心にお客様の金融資産の増加を図るとともに、「長期」「分散」「積立」を基本とした、少額から投資できる積立投信による資産形成の支援に注力してまいりました。また、金融仲介業務として昨年4月に「東和銀行SBIマネープラザ」を開設し、お客様の多様な商品のニーズにお応えをしています。

このような、お客様の本業支援や経営改善・事業再生支援、資産形成支援に積極的に取り組んだ結果、令和2年3月末の預金残高は前年同期比216億円増加の1兆9,818億円、貸出金は同225億円増加の1兆4,590億円となりました。また、令和元年度の収益状況につきましては、コア業務純益69億円、経常利益56億円、当期純利益32億円となりました。

当行は、新型コロナウイルス感染拡大により、経営や資金繰りなどに影響を受けている地域の中小企業事業者等の皆様への支援に全力で取り組むことが、最優先課題であると捉えております。今後も感染拡大の影響で経営や資金繰りなどにお困りのお客様に対し、迅速で適切かつ柔軟な金融支援に全役職員が一丸となって取り組むとともに、ビジネスモデルである「TOWAお客様応援活動」を更に強化・深化させて、地域経済の持続的な発展に寄与し、当行自身も持続的な発展を目指してまいりますので、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月



代表取締役会長

吉永 國光



代表取締役頭取

江原 洋